

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	石巻市立貞山小学校 3～6年生 124名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他(総合的な学習の時間「チュニジアを学ぼう」)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	石巻市が、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、チュニジアのホストタウンになっていることを知り、チュニジアに対して関心を持ち、友好的関わり合いをしていこうとする態度を育てる。
5 取組内容	<p>○ チュニジアを学ぼう〔H30. 6. 22〕</p> <p>石巻市復興審議監 阪井聡至氏をお招きし、石巻市とチュニジアとの関わりやチュニジアの国の国土や文化について教えていただいた。</p> <p>(1) チュニジアってどんな国？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京から飛行機で18時間ぐらしかかる遠い国。 ・ 地中海のリゾート地で、美しい町並み。 ・ サハラ砂漠、古代遺跡、世界遺産など古い歴史を持つ国。 ・ 大多数はイスラム教徒。公用語はアラビア語、フランス語も広く使われている。チュニジア料理は多くの国の文化が融合している。 <p>(2) 石巻がどうしてホストタウン？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1992年、チュニジア人大学生が石巻市内にホームステイしたことが交流のきっかけ。 ・ 東日本大震災では、チュニジアからも多くの支援をいただいた。 ・ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに参加するチュニジアの選手たちへ、感謝とおもてなしするためにホストタウンになった。



	
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 児童は、2020年東京オリンピック・パラリンピックには、たくさんの外国の方がいらっしゃることを改めて認識し、日本のよさをどのように伝えていけばよいか、知ることができた。</p> <p>(2) 石巻市の取組を復興審議監から直接教えていただくことで、石巻市も2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、動いていることを実感させることができた。</p> <p>(3) チュニジアという国に関心をもつことをきっかけに、学習を広げることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) 調べ学習をした後に、3年生が新聞にまとめる活動を行った。</p> <p>(2) 石巻市と協力して、学習活動を計画することができた。協働教育の面からも、よい取組となった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>(1) 実際にチュニジアの選手の方々とも、交流する機会ができるよう、さらに石巻市と協力し合い、学習を充実させていきたい</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 継続して活動していきたい。</p>